

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1298900067		
法人名	株式会社 モデンナ・ケアサービス		
事業所名	グループホーム 香取の杜 中々		
所在地	千葉県香取市小見川5598-1		
自己評価作成日	平成21年10月9日	評価結果市町村受理日	平成21年11月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo.chibakenshakyo.com/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成21年10月22日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

香取の杜中々は、居宅介護支援事業所を持っていない。そこが、特徴となつてか、地域全体の居宅介護支援事業所から等しく協力を得られている。今後も地域の居宅介護支援事業所との協力関係の維持推進に力を入れたい。
香取の杜中々のグループホームは、同一建物内にグループホームとデイサービスとショートステイがあることからグループホームの入居者が地域の方々から孤立することなく交流できることがアピール点である。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

施設は和を基調とした造りとなっており、来訪者が心が落ち着くような設計となっている。デイサービス・ショートステイが併設されており、日頃のレクリエーションや行事等の交流が図られていると共に、医務室・特殊浴槽・理髪室等の利用が可能となっており、入居者のニーズや能力に応じた柔軟なサービスの提供が行なわれている。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Alt+) + (Enter+)です。〕

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念には、地域密着型のサービスを提供しようとする姿勢があらわれている事業者の独自のものを構築している。理念は共有するように全職員の名札の裏に印刷しており、いつでも確認できるようにしている。	法人にて、施設理念・倫理概念を掲げており、入居者らしい生活の支援や地域に根ざした施設運営を目指している。理念・倫理においては、職員の名札の裏に印刷していると共に、新人研修等にて周知を行なっている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の人の出入りが多く、それにより交流の機会が必然的にもてている。くもんボランティア等地域のボランティアを受け入れている。複合施設のため通所者や短期利用者との交流もある。施設周りの清掃活動をした事もあり、散歩時の挨拶や会話等でホームの存在を知っていただいている。	外出の際に、近隣住民の方と挨拶を交わす関係が築かれていると共に、地域行事への参加やボランティアの受け入れを通じて地域交流を行っている。また、随時施設見学を受け付けており、施設理解の促進に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	平成21年6月10日、地域のケアマネージャ連絡会の会場として当施設を提供し、当施設嘱託医より認知症について講演していただいた。茨城県との境にあるため、神栖市社会福祉協議会の協力要請に応じて平成21年7月6日神栖介護者の会(わかば会)の施設見学勉強会を受け入れた。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	1ユニットのグループホームとして昨年10月に開設した。運営推進会議は、民生委員や市職員や利用者家族様に声掛けし、第1回会議を実施した。入居者状況報告や今後実施していく行事等について話し実行の推進段階にある。家族の方々の意見を参考にしサービスの実施を行う。外部評価後に報告を兼ねて運営推進会議を行う予定でいます。	地域の民生委員・市職員・入居者家族等を構成員として、昨年1回目の運営推進会議を行なった。会議では、施設概要・サービス内容・行事計画等の説明を行うと共に、質疑応答や意見交換を通じて施設理解の促進に努めている。	今後は、運営推進会議の定期開催を目指し、地域の施設理解を深めると共に、更なるサービスの質の向上に努めていただく事を望みます。
5	(4)	千葉県市川市富浜3-8-8 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	様々な制度、例えば介護保険法等の解釈や運用の方法について随時指導を受けるなど良好な関係を築いている。ホーム入居者に増減があったとき等はメール等で報告している。市担当者が係わり地域のグループホームが集まる地域密着サービス連絡会議に管理者は参加している。	市の地域密着型サービス連絡会議・介護支援ネットワーク会議に参加している。会議では、サービスに係る資料の回覧や勉強会が行なわれていると共に、意見・情報交換が行なわれており、市との連携が図られている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアの実践については、新任職員オリエンテーションで説明し、身体拘束をしないケアを実践している。面会外出は自由であり、鍵をいかにして掛けないでケアするかという観点から、常に見守りを心掛け自由な行動ができるよう身体拘束はしない。	身体拘束・高齢者虐待防止における施設の指針や方針を掲げている。職員の名札の裏には介護倫理を印刷していると共に、研修を実施しており、身体拘束排除に努めている。玄関においては、防犯・安全確保の為、施錠しているが、適切な見守り・声掛けにて入居者の自由を束縛しないケアを実践している。	

【千葉県】グループホーム 香取の杜 中々

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止は、会社理念の中にあり、各職員の名札の裏に印刷しており、いつでも確認できるようにして、日常から職員相互で注意を払い防止している。複合福祉施設であるため同一施設内に身体拘束廃止研修基礎課程受講修了者がいて施設内全体に注意を払っている。入浴時に身体異常はないかチェックする。接遇について勉強会を実施した。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域の社会福祉協議会とは良好な関係を築いている。日常生活自立支援事業や成年後見制度について施設にある資料で概要を学ぶことはできるが、現状で該当者はなく話をしたことはない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関する事は、利用者や家族の意思で利用申込みのあった方に対して、管理者等から説明を行い納得いただいて入居している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族や親戚はよく面会しており、利用者や家族はその場で職員に意見できる。家族はホームを訪ねてきた際に直接言っている。職員は利用者にとって馴染みの暮らしが出来るように家族と相談して対応している。これまで際立った苦情や不満はなかったが、入居者からは食べ物の好みや入居者間で気が合う合わないの感情的要望はあった。	苦情・相談窓口や意見箱を設置していると共に、家族の面会時に意見や要望を確認している。挙げた意見や要望においては、会議にて周知・検討し、適切な対応に努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員は必要に応じて、管理者等にその都度相談している。職員のカンファレンス等で意見を述べる機会もある。職員の意見は管理者間で相談して対応するため必ずしも意見を取り上げるとは限らない。	職員会議や申し送りノートを活用し、職員の意見交換を行っており、適切なチームケアの実践に取り組んでいる。また、随時管理者が職員の相談を受け付けていると共に、人事考課制度を導入し、労働環境の整備や労働意欲の向上にも努めている。	

【千葉県】グループホーム 香取の杜 中々

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	会社の代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握するよう人事考課や面接を行っている。会社の代表者は、事業全体の実績によって賞与又は手当等で給与面に還元している。契約社員でも職員個々の努力や実績によって正社員登用の道がある。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内で職員の勉強会を実施している。介護ケアに関する資格なく、未経験の職員に対しては会社内初任者研修参加機会をもうけている。自ら向上心をもって資格を取得しようとする者に対しては勤務上の配慮をする。外部研修は必要に応じた参加とする。施設運営上必要不可欠な資格取得については代表者の指示するところによる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、市の地域密着サービス連絡会議や介護支援ネットワーク会議に参加している。管理者以外の職員はまだこの会議に出席していない。職員は、モデンナ・ケアサービスの各事業所間の行事等に任意で参加する事ができる。		

【千葉県】グループホーム 香取の杜 中々

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人と十分に話し合いをもち、又、家族や入居前活用していた居宅支援事業所からも情報を得ている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	十分に家族と話し合いを行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族、本人からの要望を聴取し、入居前活用していた居宅支援事業所からの情報を把握し計画を作成し実践している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事作業を入居者の状況をみながら共に行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会は頻回にあるため利用者の暮らしぶりや健康状態を家族に知っていただくためその都度状況報告し相談をしている。毎月発行されている写真とスタッフによる利用者の様子等が記載されている「ベストスマイル」と題するホームだよりを各利用者の利用請求に合わせて毎月家族に郵送している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前の主治医への通院支援実施。行事の際の家族への声掛け。友人知人来訪時は本人居室で面会している。ショートステイやデイサービスが同一建物に併設しているため交流している。買い物や外出支援も行っている。	併設のデイサービスやショートステイからの入居が多く、馴染みの関係が築かれていると共に、不安軽減にも繋がっている。入居時に入居者の生活歴や意向を聴取し、本人の生活ペースに合わせた支援を行なっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングでの席順、外出時のグループ分け等を配慮している。		

【千葉県】グループホーム 香取の杜 中々

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	自宅で見れる状況になったと退居した方が開設以後1名いた。退居時指導を行い、その後のサービス利用に当たり情報提供する旨を伝えた。入居前利用していた居宅事業所に相談にのって頂けるよう依頼した。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人や家族からの訴えを傾聴し、本人や家族の思い意見の把握に努めている。	入居者との会話や日々の生活の中での様子を申し送りノートに記録し、職員全員が入居者の意向や思いを把握している。また、定期的に会議を行い、入居者の意向を本人本位に検討し、その人らしい生活の支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人又はご家族・医療機関・入居前の居宅支援事業所や施設からの情報を得て把握する。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェックは毎日行い測定時に様態も聴く、歩行状態も見守りの中で把握する。日々の申し送りにて現状を把握する。状態が安定しない者は24時間シートを作成して観察する。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の希望、ご家族の意見を重視し、カンファレンスにて話し合い介護計画を作成する。介護計画を作成しなおす時も同様にご本人の希望、ご家族の意見を重視し、カンファレンスにて話し合い介護計画を作成する。	入居者や家族の意向や要望を汲み取り、職員全員で検討を重ねた上で、その人に合った介護計画の作成及び支援の実践に努めている。施設独自に24時間シートを作成しており、時系列に沿った本人の生活内容・意向・ニーズ・能力等を記録し、より効果的な支援が行なえるよう工夫している。また、定期的なモニタリング・評価を実施し、本人の現状に即した介護計画の作成に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録、体調管理の記入、申し送りで情報を共有し、日々のケアや介護計画に生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	固定的観念にとらわれず利用者様の状況や状態により日々対応をかえる。		

【千葉県】グループホーム 香取の杜 中々

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	家族から入居前の暮らし方等もうかがい、本人と地域の関係性等も把握し、外出活動等で継続できるように支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診記録を作成し、経過が把握できるようにしている。	病院受診においては、希望のかかりつけ医に受診が可能となっていると共に、希望に応じて通院の付き添いも支援している。協力病院との連携により、緊急時における受診体制も構築されている。職員に看護師があり、日々の健康管理が適切に行われている。また、併設のショートステイには、医務室が設置され、定期的に往診が実施されており、適切な医療支援が行なわれている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	申し送りノートを活用、また介護職は職場内看護師にオンコール体制をとっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	受診時の付き添いにより医療情報を把握し、介護職からも医療従事者に施設での様子を伝えていく。利用者の係り付け医療機関を大切にしている。当施設は複合福祉施設としてショートステイもあることから施設は地域の医療機関と良好な関係を保っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族、担当医と話し合い、指導頂いた結果をもとに、日々の申し送りや月に1度のカンファレンスにて方針を共有している。	重度化・終末期においては、協力病院との協力体制を構築している。家族と終末期に向けての話し合いを行ない、必要に応じて同意書を交わし、対応方法等の了承を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	施設内で緊急時の対応の勉強会を行った。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	平成21年7月15日消防署立会いの下に避難訓練、消化訓練、通報訓練を実施した。消火栓及びスプリンクラーは建築時に設置している。香取市の介護支援ネットワーク会議に管理者が参加し市が備蓄する災害非常食を試食した。防災資料はホームにおいて職員が見れるようにしている。	施設には、スプリンクラー、消火器、消火栓、通報設備が設置されており、非常・災害時に備えている。消防署の協力のもと、避難訓練が一回実施されている。夜間においては、併設施設との連携により、緊急時の協力体制が講じられている。	施設においての非常・災害時における訓練を定例化し、職員全員が避難・対応の方法を身に付けると共に、運営推進会議や日頃の呼びかけを通じて地域住民との協力体制を構築する事を望みます。

【千葉県】グループホーム 香取の杜 中々

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	認知症のために同じ質問を繰り返しても、初めてのこのように答えるように接したり、利用者様一人ひとりその人にあうよう対応をかえている。	職員の入職時に介護職員としての心構えや接遇マナーを教育し、入居者のプライバシー等を損ねないよう努めている。個人情報においては、家族・職員に同意書を交わしており、個人情報の管理に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	こちらの都合で決めることなく、ご本人の希望で自己決定できるまで、時間がかかっても見守るようにしている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の大まかな流れは決まっているが、職員側の都合でケアしてしまう事のないように利用者の希望に添って臨機応変に対応している。日々の生活を本人の希望どおりとし、レクリエーションなども声掛けはするが強要はしない。リビングで食事がしたくない時はお部屋で食事していただいたり時間をずらす事もある。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月に1度の移動美容室の提供。ケアクリームの使用を促す。日々の服装は本人が好みで決め服装や髪の乱れは職員が介助して整える。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の前に嚥下体操を行い、準備及び片付けをしていただく。	入居者の希望や能力に応じて、食事の準備等を共同で行っている。献立においては、法人の栄養士が作成しており、栄養バランスを考慮した食事提供がなされている。調理においては併設のデイサービスにて専門の職員が行なっているが、入居者の希望に応じて、おやつ作り等は共同で行っている。また、外食・惣菜の買い出し等が行なわれており、食に対する楽しみを支援している。入居者の能力に合わせた食事提供が行なわれていると共に、水分や食事の摂取量を記録し、適切な栄養管理が行なわれている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立。食事時の声掛け会話で状態把握し摂取支援する。1日の水分量をチェックし総摂取量を把握する。			

【千葉県】グループホーム 香取の杜 中々

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアの誘導と実施を促している。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	コール対応及び時間をはかってトイレ誘導を行っている。	排泄チェックリストの作成がされていると共に、一人ひとりに合わせた排泄パターンを把握し、適切な対応を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	バナナ、牛乳、飲むヨーグルトなど、ご本人の希望により提供している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	体調に合わせて入浴の回数・時間の調整をしている。	入浴の時間や回数等は入居者の希望に応じて柔軟に対応している。脱衣所にはエアコンや整容スペースが設置されており、快適な入浴を支援している。また、季節に合わせて柚子湯等の実施により、楽しい入浴の支援も行なわれている。入居者の能力に応じて、併設施設の特殊浴槽の利用も可能となっており、適切な入浴支援に取り組んでいる。入浴拒否に対しては、無理強いせず、日にちや時間の変更等にて対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望により、午睡の時間の確保。休息、睡眠は本人の自由だが、生活リズムが崩れない程度には声掛けしている。		

【千葉県】グループホーム 香取の杜 中々

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が勤務しており、看護師と介護職員が協力して服薬及び健康状態を管理している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物のたたみ、掃除、食器の片付けを職員と共に行う。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族との外出時の送迎援助。季節に合わせた外出行事の企画。	入居者の希望や天候に応じて、散歩・買い物・ドライブ等の外出が行なわれていると共に、季節や希望に応じて行事を企画・実施し、外に出掛ける機会を作っている。また、家族と合同での外出会等を実施しており、様々な戸外での楽しみを提供している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物への同行支援。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様の許容範囲内での電話及び手紙のやり取りの支援。		

【千葉県】グループホーム 香取の杜 中々

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームは清潔で、広がりのある空間を整え窓も多く日中は心地よい光が差すように設計されている。玄関・廊下、リビングに季節の花を飾り、廊下には適度に入居者様の作品を展示している。	施設内は和を基調とした造りとなっており、入居者が落ち着くような環境作りがなされている。十分な介助スペースの確保・呼び出しベルの設置・バリアフリー設計等入居者の安全面に配慮した施設作りがなされている。全ての共有空間にエアコンが設置されていると共に、リビングには、テーブル・ソファベンチ等が設置され、入居者がゆっくりくつろぐ事が可能となっている。また、併設のデイサービスやショートステイには自由に行き来する事ができ、利用者との交流が入居者の日頃の楽しみになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング内にソファ及び廊下にベンチの設置。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が自宅で愛用していた物を、居室に持ち込んでいただいています。馴染みの家具を持ち込んだりして、思い思いのレイアウトで過ごしている。	全居室和室となっていると共に、入居者の希望に応じて馴染みの家具等を持ち込む事が可能となっており、居心地良く生活できるよう配慮している。エアコン・換気扇・タンス・ナースコールが設置され利便性や安全面等に配慮した居室造りがなされている。また、居室には鍵が設置されており、個人のプライバシーの確保にも努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は明るく、簡素で落ち着いた色合いで、けばけばしい装飾はなく落ち着いてお年寄りにとって居心地が良い空間となるように配慮されている。廊下は衝撃吸収性の素材が使われ手摺が設置されており、建物全体に段差無く、ドワは横引きで車椅子でも活動しやすく、入居するお年寄りの安全に配慮したものとなっている。		